

令和6年度外部評価会 集計表(農業者)

所属名: 大島支庁徳之島事務所農業普及課

課題名② 徳之島産ピタヤの産地育成						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		適当	概ね 適当	要 改善		
課題の 設定	①農業者や地域が必要とする課題 であるか	2				
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者, 地 区)の選定は適切であるか	2				
活動体 制・活動 方法	③関係機関とうまく連携して活動し ているか	2				
	④活動(活動方法, 時期, 手段)は 適切であるか	1	1			
	⑤専門的な技術・情報を活用して 効果的な活動が行われているか	1	1			
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や 成長に効果が上がったか	1	1			
活動の 波及性 と改善	⑦他の課題や他農業者, 地域へ の波及性があるか	1	1			
	⑧結果が十分でないものは今後の 対策が考えられているか	2				

令和6年度外部評価会 集計表(関係者用)

所属名: 0

課題名② 徳之島産ピタヤの産地育成						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		適当	概ね 適当	要 改善		
課題の 設定	①課題は地域の農業振興上、重要な課題であるか	9			夏の収入確保は必要、今後とも継続していただきたい。露地品目であることもいいことだと思う。JAとして連携して取り組んでいきたい。伊仙町において推進を強化していきたいと考えている。	町、JAと連携し普及活動に位置づけている。
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	8	1			
活動体制・活動 方法	③関係機関と連携して活動しているか	8	1			
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	8	1			
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	7	1			
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	5	4			
	⑦指導対象が積極的に課題解決にあたるようになったか	4	3			
活動の 波及性 と改善	⑧他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	6	3			
	⑨結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	5	4			

徳之島産ピタヤ（ドラゴン フルーツ）の産地育成

大島支庁徳之島事務所

農業普及課

果樹担当



発表の流れ

- 1 ピタヤの紹介と産地育成に取り組んだ経緯
- 2 産地育成の取組と活動成果
- 3 今後の課題

ピタヤとドラゴンフルーツ

「ピタヤ(pitaya)」

熱帯地域に生息するサンカクサボテンの果実の総称

「ドラゴンフルーツ」

日本で流通しはじめた時の商品名

語源は、果実が竜のうろこのように見えるため

正式名称は「ピタヤ」であり、海外では「ピタヤ」と呼ばれることが一般的

ピタヤの品種は？

果肉の色の違いで「レッドピタヤ」や「ホワイトピタヤ」などの分類のみ

品種登録に至っていないのがほとんど

「レッドピタヤ」だけでも数十種類あり

果実の大きさや果形, 果実品質（糖度）など, 種類によって特性は異なる

徳之島での栽培の経緯

- 島内では以前から庭木の延長として栽培
- 本格的な出荷はほとんど無し
- 島内の2戸の農家が、沖縄県の業者を通じ、数十種類のピタヤを栽培（元々は東南アジアや中南米などから導入）

徳之島「選抜系統」

20年以上かけて、数十種類の中から徳之島の気象条件に合う「美味しい系統」を探索し、平成25年頃に選抜

選抜したのは3種類
「ホワイトピタヤ」
「ピンクピタヤ」
「レッドピタヤ」



選抜系統の特徴

	着花性 (花の着きやすさ)	自家和合性 (自分の花粉で結実するか)	成熟日数 (開花から収穫までの期間)	果実重
レッドピタヤ (赤肉種)	○	○	32~33日	500~600g
ホワイトピタヤ (白肉種)	×	○	40~42日	700~1,200g
ピンクピタヤ (桃肉種)	○	×	30日程度	350g程度

レッドピタヤ (赤肉種) の開花～収穫のサイクル

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	○	○	○				
							□

○：開花
□：収穫

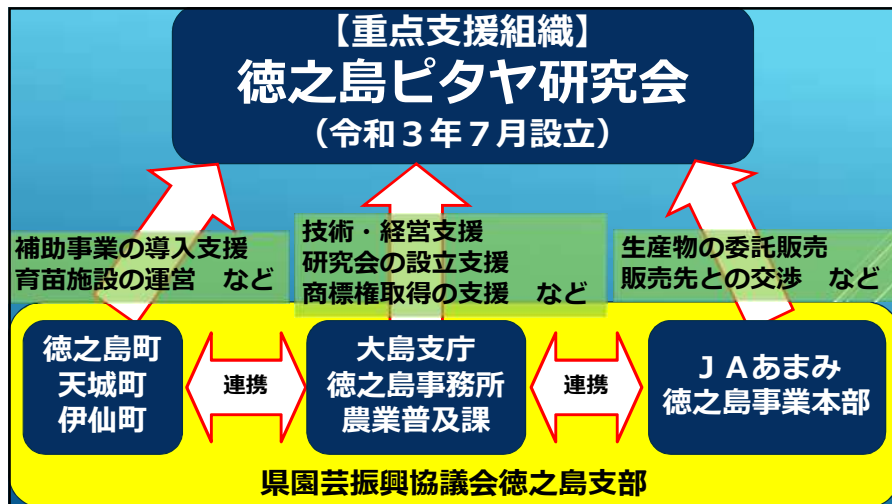
台風及び干ばつに強く、樹勢が良好であれば7～11月に計5～6回の収穫が可能

主要品目の収穫時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	ばれいしょ				パッションフルーツ						
	さとうきび					マンゴー					
		たんかん									
				かぼちゃ							
							ピタヤ				

黄色：露地品目
青色：施設品目

台風襲来時期に収穫できる組み合わせ品目として位置づけるように園振協で取組開始



ピタヤ生産の課題と取組

(1) 単収が低くて適正施肥量が不明
 → **I 施肥試験による単収向上**

(2) 採算が取れるか不明
 → **II 経営試算による収益性把握**

ピタヤ生産の課題と取組

(3) 知名度が低い
 → **III PR活動による知名度向上**
 → **IV 商標権取得による差別化販売**

I 施肥試験による単収向上

肥料試験の概要 (令和5年度)

- 品 種 等：徳之島選抜系統(赤肉種)
- 場 所：徳之島町花徳
- 調査項目：施肥量，着果量，果実重糖度 (Brix値)

区の設定及び施肥量

区の設定		施肥日				合計
		4/6	6/23	7/30	9/25	
肥料増量 (3割増)	1木柱当たりの施肥量 (g)	100	<u>100</u>	<u>75</u>	50	<u>325</u>
地域慣行	1木柱当たりの施肥量 (g)	100	<u>50</u>	<u>50</u>	50	<u>250</u>

※肥料はアグリッチ (N : 8%, P : 8%, K : 8%, Mg : 3%) を施用

1木柱当たり50~100gずつ施肥



1木柱当たりの着果数 (果/本)

調査日	7/10	8/23	9/29	10/23	合計
区の設定					
肥料増量	3.7	7.5	3.3	1.4	<u>15.9</u>
地域慣行	1.3	4.7	1.1	0.3	<u>7.3</u>

10a換算収量の比較

区の設定	1木柱当たり着果量 (果/本)	平均果実重 (g)	10a当たり木柱数 (本)	10a換算収量 (kg/10a)
肥料増量	<u>15.9</u>	600	100	<u>953</u>
地域慣行	<u>7.3</u>	624	100	<u>456</u>

※植栽間隔は、畦間 : 3m × 株間 : 3m植えて試算

果実分析結果

区の設定	分析日 調査項目	7/28	9/15	11/13	平均
		肥料増量	果実重 (g)	659	587
糖度 (Brix値)	15.0		14.7	15.7	15.1
地域慣行	果実重 (g)	708	588	576	624
	糖度 (Brix値)	15.9	14.5	15.6	15.3

Ⅱ 経営試算による収益性把握

【収入】

(10a 当たり)

	肥料増量	地域慣行	備考
生産量	1.0 t	0.5 t	
販売量	0.8 t	0.4 t	裂果などにより 生産量の8割掛け
販売単価	745円	745円	令和5年産 JA販売実績より
販売額	596千円	298千円	

【経費】

(単位：円/10a)

	肥料増量	地域慣行	備考
固定経費	86,529	86,529	柱, アーチパイプ, 苗代 等の償却期間は10年
流動経費	270,880	135,440	肥料, 農薬, 諸材料, 販売に係る資材・運賃・ 手数料など
合計	357,409	221,969	

【経営試算】

(単位：円/10a)

	肥料増量	地域慣行	備考
販売額	596,000	298,000	
経費	357,409	221,969	
農業所得	238,591	76,031	
所得率	40.0%	25.5%	

Ⅲ P R活動による知名度向上

令和元年度よりP R活動を開始

- ①東京都内の果実専門店でのイベント
- ②おいどん市場与次郎館での即売会
- ③島内イベントでの試食販売 など

東京都内の果実専門店「新宿高野」でのP Rイベントで魅力発信



徳之島町民へ
「徳之島宝赤」
の美味しさを
知ってもらおう



試食の効果であつという間に完売



IV 商標権「徳之島宝赤」取得による差別化販売

既存のピタヤとは異なる「美味しいピタヤ」として販売したい。そこで、令和4年9月16日に商標権「徳之島宝赤」を取得
 (※商標登録は国(特許庁)が行う)

令和4年度より商品名「徳之島宝赤」で販売



令和5年度より栽培希望者を募集

年度	栽培面積	生産者数	町別 生産者内訳
R4まで	108a	6名	徳5, 伊1
R5	128a	10名	+徳2, 天1, 伊1
R6	150a	15名	+徳1, 天4



今後の課題

- (1) 栽培方法のマニュアル化
(特に施肥量及び施肥時期)
- (2) 単収向上 (目標: 2 t / 10 a)
- (3) 栽培面積拡大
- (4) 知名度向上



ご清聴ありがとうございました